

THINKING TOGETHER
“How Can
International
Exhibitions and
Institutions
Move Beyond
City-Branding
and Towards
Building
a Cultural
Landscape
in Asia?”

ヨコハマトリエンナーレ2014 プレイベント



国際展で考える

「東アジア地域における 文化交流の仕組みづくり」

2014
2 | 16
SUN

15:00-18:30 (14:30 OPEN)

ヨコハマ創造都市センター 3F スペース



使用言語：日英バイリンガル（日英同時通訳あり）

参加費：無料（事前申込制、定員150名）

登壇者

ラース・ニッティヴェ M+ 美術館エグゼクティブディレクター（香港）

イ・ヨンウ（李龍雨） 光州ビエンナーレ財団理事長（韓国）

ウテ・メタ・パウアー 南洋理工大学現代美術センター（CCA）ディレクター（シンガポール）

逢坂恵理子 横浜美術館館長／横浜トリエンナーレ組織委員会委員長

コーディネーター：帆足亜紀 横浜トリエンナーレ組織委員会事務局長

国際展、美術館、アートセンター、アートフェアと現代美術の
アートシーンが形成されつつあるアジア。21世紀に入ってから
現代美術や文化活動全般に大きな資本や多くの資源が投じら
れるようになり、今や、開拓・成長の段階から持続・成熟に向
けて新たな局面を迎えたようにも見えます。しかし、その成果
や評価は都市や国単位で語られるものの、アジアという地域
単位ではまだ議論が十分に尽くされていません。人材が育成
され、知識が蓄積され、ネットワークが形成されつつあるこの
地域の現代美術にかかわる社会的資本をどう未来につなげ、
活用していくのか。

横浜トリエンナーレでは、香港、光州、シンガポールを拠点に
新しい試みに挑戦する専門家3名を迎え、それぞれの活動が
どのようにアジアという地域に貢献しうるのがかを共に考えます。
そして、都市間交流にとどまらない、東アジアという地域を基盤
とした文化交流の仕組みづくりの可能性について議論します。

主催：横浜トリエンナーレ組織委員会

共催：ヨコハマ創造都市センター

（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

助成：公益信託タカシマ文化基金

協力：国際舞台芸術ミーティング in 横浜2014 実行委員会
学習院女子大学

東アジア文化都市 2014 横浜特別事業



東アジア文化都市
2014 横浜
Culture City of East Asia
2014, YOKOHAMA



プログラム概要

15:00-15:45 基調講演

ラース・ニッティヴェ

M+ 美術館エグゼクティブディレクター (香港)

15:50-16:10 ケーススタディ①

「光州ビエンナーレの試み」

イ・ヨンウ (李龍雨)

光州ビエンナーレ財団理事長 (韓国)

16:10-16:30 ケーススタディ②

「シンガポールの試み」

ウテ・メタ・パウアー

南洋理工大学現代美術センター (CCA) ディレクター (シンガポール)

16:30-16:40 ケーススタディ③

「横浜トリエンナーレの現在とこれから」

逢坂恵理子

横浜美術館館長／横浜トリエンナーレ組織委員会委員長

16:55-17:55 パネルディスカッション

「都市間交流から文化交流プラットフォームづくりへ」

コーディネーター：帆足亜紀

横浜トリエンナーレ組織委員会事務局長

17:55-18:30 質疑応答

舞台芸術AIRミーティング@TPAM 2014

2月16日 (日) 10:00~ヨコハマ創造都市センター (YCC)

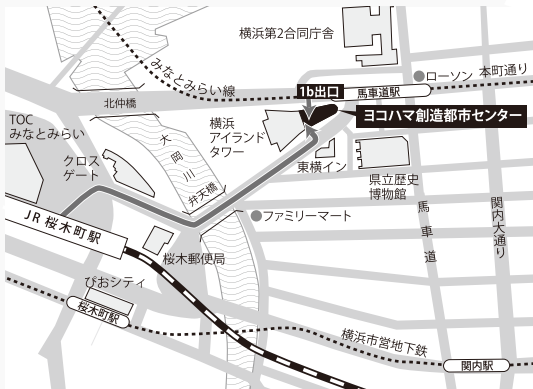
3Fで開催。詳細はウェブサイト等で発表いたします。

www.tpam.or.jp

会場へのアクセス

ヨコハマ創造都市センター (YCC) 横浜市中区本町6-50-1

- みなとみらい線「馬車道駅」
1b出口 [野毛・桜木町口 (アイランドタワー連絡口)]
 - JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩5分
 - JR・市営地下鉄「関内駅」徒歩7分
- 当施設には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用下さい。



ラース・ニッティヴェ

M+ 美術館エグゼクティブディレクター (香港)

Dr. Lars Nittve, Executive Director Museum Plus (M+) of the West Kowloon Cultural District Authority, Hong Kong

スウェーデン・ストックホルム生まれ。ストックホルム大学 (経済学修士号)、ニューヨーク大学 (大学院修了) で学んだ後、1978 年よりストックホルム大学にて美術史の教鞭を執る傍ら、美術批評家として活躍。ストックホルム近代美術館チーフキュレーター着任 (1986 年) を皮切りにマルメのルーセウム現代アートセンター初代館長、デンマークのルイジアナ近代美術館館長、英国のテート・モダン初代館長、ストックホルム近代美術館の館長を歴任。著書、受賞多数。美術関係団体・組織の委員の経験も豊富。2013 年に『ル・ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール』誌の「世界を変えた 50 人」に選ばれる。2011 年 1 月より西九文化区管理局 (香港) へ参画にて、現職。2017 年の開館に向けて準備中である。



イ・ヨンウ (李龍雨)

光州ビエンナーレ財団理事長 (韓国)

Dr. Lee Yongwoo, President, Gwangju Biennale Foundation

韓国・ソウル生まれ。著述家、キュレーター、美術史家。オックスフォード大学にて博士号を取得。高麗大学校教授 (批評と視覚文化)、センター・フォー・ニュー・メディア・アート事務局長を歴任。1995 年に創設された光州ビエンナーレの初代ディレクター。同ビエンナーレのアーティスティック・ディレクター着任後 (2004 年)、2008 年より現職。『Mass, The Culture Creator』、『Information and Reality』、『The Origins of Video Art』、『Nam June Paik』など鑑賞、ニューメディアに関する著書多数。



ウテ・メタ・パウアー

南洋理工大学現代美術センター (CCA) ディレクター (シンガポール)

Professor Ute Meta Bauer, Founding Director of the Center of Contemporary Art (CCA) Singapore

ドイツ生まれ。分野横断的な視点で現代アート、映像、ビデオ、サウンドなどの展覧会を数多くてがける。ドクメンタ11のコ・キュレーター (2001-02 年)、第3回ベルリン・ビエンナーレのアーティスティック・ディレクター (2004 年)、新ベルリン美術協会 (n.b.k.) の「The Future Archive (未来のアーカイブ)」展 (2012 年) のキュレーター、第1回ワールド・ビエンナーレ・フォーラム (2012 年) のコ・ディレクター。マサチューセッツ工科大学 (MIT) 准教授、MITヴィジュアル・アーツ・プログラムのディレクター (2005-09 年)、建築・都市計画学部のアート・文化・テクノロジー・プログラム (ACT) 初代ディレクター (2009-12 年)、ロイヤル・カレッジ・オブ・アートの美術学部長 (2012-13 年)、ノルウェー現代美術センター (OCA) の初代ディレクター (2002-05 年) を歴任。美術関係組織・団体のアドバイザーや委員の経験も豊富。『World Biennale Forum No 1 - Shifting Gravity』、『AR - Artistic Research』(ともに2013 年、共編) など著書多数。2013 年より現職。同大学美術・メディア・デザイン大学院教授も務める。



逢坂恵理子

横浜美術館館長／横浜トリエンナーレ組織委員会委員長

Osaka Eriko, Director, Yokohama Museum of Art

Chairperson, Organizing Committee for Yokohama Triennale

東京都生まれ。学習院大学文学部哲学科卒業。専攻芸術学。国際交流基金、ICA名古屋を経て、1994 年より水戸芸術館現代美術センター主任学芸員、1997 年より2006 年まで同センター芸術監督。2007 年より2009 年1 月まで森美術館アーティスティック・ディレクター。2009 年4 月より横浜美術館館長に就任。また、1999 年第3 回アジア・パシフィック・トリエンナーレで日本部門コ・キュレーター、2001 年第49 回ヴェニス・ビエンナーレで日本館コミッショナー、ヨコハマトリエンナーレ2011 総合ディレクターなど、多くの現代美術国際展をてがける。

申込み方法

2014 年1 月11 日より横浜トリエンナーレ公式 WEB サイトのイベント情報ページ

<https://www.yokohamatriennale.jp/news/> よりお申込みください。

または、件名に「2/16 シンポジウム申込み」と記載し、①氏名 ②所属 ③住所 ④電話番号を明記の上、事前に FAX (045-681-7606) でお申込みください。

締切：2014 年2 月13 日 (木)

お問い合わせ先：横浜トリエンナーレ組織委員会事務局

〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-4-1 横浜美術館内

TEL 045-663-7232 (平日10:00-18:00) FAX 045-681-7606 E-MAIL info@yokohamatriennale.jp

www.yokohamatriennale.jp/